

犬が好き、猫が好き、本が好き。

なんとなく近寄りやすいイメージの作家。でも、「犬」や「猫」と一緒に写っているだけで、親近感を感じることがあります。

本展は、ペットであり、家族であり、時に編集者よりも頼もしい創作の支えとなっていたであろう「作家の飼い犬」や「作家の飼い猫」に焦点を当て、作家たちの人間相手には見せない知られざる一面を写真や資料でご紹介する展覧会です。

会場で、作家とペットの素敵な関係を楽しみつつ、あなたと犬・猫の素敵な関係を探してみてください。

高知県の獣医さん・動物愛護団体の皆さんにご協力いただいたコーナーや、たくさん犬・猫に関する本が読めるコーナーもあるよ！



◀大原富枝と愛犬・三郎 / 本山町立大原富枝文学館所蔵



(右) 大原富枝著 / 『山雲への恋文』福武書店
(左) 安岡登太郎著 / 『愛犬物語』KSS出版

CHECK 犬・猫好きさん集まれ！ ニャンとワンだふる！な彼らのおはなし

はるか昔から、歴史・文化・宗教・迷信などのあらゆる場面でわれわれ人類と関わってきた犬・猫。

その歴史を高知県立文学館流に分かりやすくご紹介しします。また、近年の動物愛護運動の取り組みなど、犬・猫にまつわるトリアやアナザーストーリーもあわせてご紹介しします。



展示室で
同じような実験
ができるよ★

私が高知県出身なんです！
寺田寅彦先生の物理学者
実験のために作った
先生の飼い猫の型紙です

CHECK 作家とペットのおはなし

メインとなる展示室では、高知出身の作家を軸に、それぞれの作家が飼育していた犬と猫のエピソードを写真資料やパネルでご紹介しします。

時にユーモラスに、時に科学的に、作家ならではの鋭い目を通して表現された犬・猫のさまざまな姿をお楽しみください。

CHECK いのちと作家のおはなし

展示のおわりに、来館者の皆さまと一緒に「可愛い」や「癒される」という感情の先にあるものを探ってゆきます。安易に答えの出ない命の問題に正面から向き合っている作品などもご紹介し、人間のあり方・文学の可能性を紐解きます。

本展が、知らなかった文学作品との出会いや、ペットとの人生をより良く生きるためのヒントの場となれば幸いです。



寺田寅彦資料
猫の型紙 / 当館蔵

